

報告第6号

令和3年度めむろ新嵐山株式会社の経営状況について報告の件
地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、令和3年度めむろ新嵐山株式会
社の経営状況について報告するものであります。

令和4年6月22日提出

芽室町長 手 島 旭

第 21 期 営 業 報 告 書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

河西郡芽室町中美生2線42番地

めむろ新嵐山株式会社

第 2 1 期事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 3 1 日

当社は芽室町最大の観光施設であり、町民の健全なレクリエーションを図るとともに観光の振興に寄与するために設置された「新嵐山スカイパーク」を管理・運営するため、芽室町 100%出資により、平成 14 年 3 月 6 日に設置され、同年 4 月 1 日より事業を開始し、実質的には今期が 20 年目となっております。

令和 3 年 4 月から新たに 3 年間の指定管理者の指定に基づく指定管理業務の協定を締結し、1 年が経過しました。

前期（2020 年）同様、芽室町が策定した新嵐山活用計画「リユラル イン ザ・スカイパーク」に基づき、「行動計画」を定め、以降それに沿い「変わる新嵐山」を利用者に体験いただき、且つ運営・管理手法の見直しを進めております。

今期（2021 年）の取り組みとして、以下のとおり実施しました。

【グリーン期（4～11 月）】の取り組み

新嵐山の特徴づけに注力した新しい価値観のアピール

- 1 バーベキューテラスの設置
- 2 ハンモックフォレスト・わんぱく広場・ドックランの設置
- 3 新キャンプサイトの設置（ワンちゃんサイト・ファミリーサイト）
- 4 グランピングの増設
- 5 1 階レストラン「フードコート スカイパーク」の夏期活用
(ワークショップ&マルシェ)
- 6 経費圧縮を目的とした部門別収支計画の導入及び管理部門業務の見直し

【ウィンター期（12～3 月）】の取り組み

多様性のあるファーストタイマーに優しいフィールド

- 1 第二リフトの毎日運行
- 2 ナイター営業時間の延長
- 3 そり広場・初心者エリアの拡張
- 4 スノーキャンプ・スノーグランピング営業
- 5 1 階レストラン「フードコート スカイパーク」の稼働アップとメニューの充実
- 6 スキーレンタルの自社化
- 7 スカイパークロッジのレイアウト変更（滞在スペースの確保）
- 8 原価・人件費・一般販費等の圧縮（コントロール下での運営）への取り組み

上記の実施により、指定管理料を除く純売上は 94,385 千円（前年比 130.1%）という結果になりました。

増収要因については、シーズンを通して「新規客層の取り込みが成果を挙げた」と判断しており、その中でもキャンプ事業・レンタル事業及び料飲部門（フードコート）の自社化は、運営上の効率化と売上確保につながり、特に、戦略の実施（ノンスキーヤーの取り込みと新規有料コンテンツ設置）は大きな成果を挙げ、キャンプ場利用数の増加・リフト収入の増加・レストラン喫食数の増加などコロナ禍ではあるものの良い結果につながっており、ターゲット毎の戦略（ターゲットを絞りながらも全方位戦略）が功を奏したと判断しています。

一方、コロナ禍の影響を受ける「宿泊」・「宴会」は、まだまだ厳しい状況が続いておりますが「安心・安全」を基本とし、満足度の高い施設運営を行って参ります。

また、コスト面においては「各コストの見える化」を進め、徐々にではありますが想定内での運営が可能となってきており、特に、ウィンター期の索道・ゲレンデ整備業務は大きな見直しを行い、計画性を持った労働時間配分を実施しました。

人件費については、純売上（指定管理料を除く）対比 131.8%（前年 164.8%）とまだまだ適正な数値ではなく、公共施設運営におけるコストコントロールが課題と考えます。

さらに、固定費等の削減を進めておりますが、施設維持費・修繕費・水光熱費・リース費等、経年劣化に伴う費用負担が大きく、今後の費用捻出を抜本的に見直す必要を強く感じています。

以上のことから、実質売上ベース（指定管理料、テナント委託料等を除く）では 92,469 千円（前年比 129.6%）と健闘しましたが、その中で、指定管理料は施設の休業要請を受けた期間中のみの見直しとなったことから、全社売上は 149,172 千円（前年比 91.8%）と大きく減少し、経常利益は 57,963 千円の損失（前年 13,078 千円）という大変厳しい結果となりました。

来期においては、更なるコスト削減を進めながら、アフターコロナでの集客対策を実行し、更なる改革・改善に努めるよう社員一同努力して参ります。

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
(資 産 の 部)				
I 流 動 資 産	50,629,683	(97.3)	10,466,010	(48.1)
現 金 及 び 預 金	47,364,043	91.0	4,223,679	19.4
売 掛 金	1,101,729	2.1	791,107	3.6
棚 卸 資 産	1,357,999	2.6	2,645,890	12.1
前 払 費 用	104,910	0.2	104,910	0.5
未 収 入 金	0	0.0	2,087,700	9.6
未 収 還 付 法 人 税 等	1,000	0.0	57	0.0
未 立 仮 替 金	170,002	0.3	82,667	0.4
仮 払 金	530,000	1.0	530,000	2.4
II 固 定 資 産	1,403,939	(2.7)	11,313,337	(51.9)
有 形 固 定 資 産	1,403,939	(2.7)	11,313,337	(51.9)
建 築 物	0	0.0	2,920,500	13.4
構 築 物	0	0.0	3,043,686	14.0
機 械 及 び 装 置	0	0.0	3,190,126	14.6
車 両 運 搬 具	1	0.0	1	0.0
工 具 、 器 具 及 び 備 品	1,403,938	2.7	2,159,024	9.9
無 形 固 定 資 産	0	(0.0)	0	(0.0)
投 資 そ の 他 の 資 産	0	(0.0)	0	(0.0)
III 繰 延 資 産	0	(0.0)	0	(0.0)
資 産 の 部 合 計	52,033,622	100.0	21,779,347	100.0

(単位：円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
(負債の部)				
I 流動負債債	(24,566,407)	(47.2)	(41,344,008)	(189.8)
買掛金	678,480	1.3	913,137	4.2
1年以内返済長期借入金	6,672,000	12.8	20,004,000	91.8
未払金	3,236,740	6.2	7,879,635	36.2
未払費用	10,823,887	20.8	12,367,236	56.8
未払法人税等	180,000	0.3	180,000	0.8
未払消費税等	2,973,800	5.7	0	0.0
前受金	1,500	0.0	0	0.0
II 固定負債債	(10,548,000)	(20.3)	(21,659,000)	(99.4)
長期借入金	10,548,000	20.3	21,659,000	99.4
負債の部合計	35,114,407	67.5	63,003,008	289.3
(純資産の部)				
I 株主資本	(16,919,215)	(32.5)	(41,223,661)	(189.3)
1. 資本金	30,000,000	57.7	30,000,000	137.7
2. 資本剰余金	0	0.0	0	0.0
3. 利益剰余金	(13,080,785)	(25.1)	(71,223,661)	(327.0)
(1)その他利益剰余金	(13,080,785)	(25.1)	(71,223,661)	(327.0)
繰越利益剰余金	△ 13,080,785	25.1	△ 71,223,661	327.0
II 評価・換算差額等	0	0.0	0	0.0
III 新株予約権	0	0.0	0	0.0
純資産の部合計	16,919,215	32.5	41,223,661	189.3
負債・純資産の部合計	52,033,622	100.0	21,779,347	100.0

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 3年 4月 1日から
令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
給料手当	99,242,270	61.1	100,719,845	67.5
職員教育費	23,545	0.0	20,382	0.0
販売員旅費	23,032	0.0	0	0.0
広告宣伝費	3,732,858	2.3	4,290,953	2.9
発送配達費	0	0.0	17,599	0.0
販売促進費	101,018	0.1	61,920	0.0
支払手数料	1,473,034	0.9	2,468,949	1.7
新聞図書費	97,781	0.1	89,452	0.1
役員報酬	360,000	0.2	360,000	0.2
従業員賞与	5,607,776	3.5	8,106,334	5.4
法定福利費	11,880,269	7.3	14,765,332	9.9
厚生費	488,149	0.3	409,400	0.3
被服費	478,886	0.3	254,756	0.2
減価償却費	401,802	0.2	892,602	0.6
リース料	908,098	0.6	9,882,459	6.6
修繕費	3,447,018	2.1	3,888,330	2.6
事務用品費	712,108	0.4	635,958	0.4
通信費	986,676	0.6	810,828	0.5
水道光熱費	22,578,733	13.9	25,258,274	16.9
租税公課	412,650	0.3	263,800	0.2
接待交際費	55,556	0.0	2,778	0.0
保険料	1,414,585	0.9	1,457,855	1.0
備品消耗品費	9,221,628	5.7	13,036,655	8.7
諸会費	533,100	0.3	421,200	0.3
車輻維持費	5,235,319	3.2	3,646,115	2.4
施設維持費	5,745,582	3.5	11,736,393	7.9
支払報酬	829,473	0.5	841,882	0.6
リネン費	723,663	0.4	1,345,175	0.9
雑費	830,540	0.5	845,829	0.6
合 計	177,545,149	109.3	206,531,055	138.5

棚卸資産の計算内訳

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
商 品	1,357,999	0.8	2,645,890	1.8
合 計	1,357,999	0.8	2,645,890	1.8

株主資本等変動計算書

令和 3年 4月 1日から
令和 4年 3月31日まで

	前 期 額 (円)	決 算 額 (円)
I 株 主 資 本		
1. 資 本		
当期首残高	30,000,000	30,000,000
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>30,000,000</u>	<u>30,000,000</u>
2. 利 益 剰 余 金		
(1) その 他 利 益 剰 余 金		
繰 越 利 益 剰 余 金		
当期首残高	1,380,736	-13,080,785
当期変動額		
当期純損失	-14,461,521	-58,142,876
当期末残高	<u>-13,080,785</u>	<u>-71,223,661</u>
その 他 利 益 剰 余 金 合 計		
当期首残高	1,380,736	-13,080,785
当期変動額		
当期純損失	-14,461,521	-58,142,876
当期末残高	<u>-13,080,785</u>	<u>-71,223,661</u>
株 主 資 本 合 計		
当期首残高	31,380,736	16,919,215
当期変動額		
当期純損失	-14,461,521	-58,142,876
当期末残高	<u>16,919,215</u>	<u>-41,223,661</u>
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>0</u>	<u>0</u>
III 新 株 予 約 権		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>0</u>	<u>0</u>
純 資 産 の 部 合 計		
当期首残高	31,380,736	16,919,215
当期変動額		
当期純損失	-14,461,521	-58,142,876
当期末残高	<u>16,919,215</u>	<u>-41,223,661</u>

個 別 注 記 表

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による低価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法
(1)有形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しております。

3. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 5,632,879円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 600株

以 上

以上のとおり御報告申し上げます。

令和4年6月2日

めむろ新嵐山 株式会社

代表取締役 佐野 寿行

取締役 小林 徳昭

取締役 佐々木 快治

取締役 渡邊 太

監査報告書

私たち監査役は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第21期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその付属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその付属明細書の監査結果

計算書類及びその付属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和4年6月2日

めむろ新嵐山株式会社

監査役 紺野 裕



監査役 松浦 智幸



第22期事業計画書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

第21期（2021年）の事業状況を踏まえ、第22期（2022年）事業計画を申し上げます。

新たに指定管理業務の協定を締結してから2年目となる今期は、芽室町が策定した新嵐山活用計画「リユラル イン ザ・スカイパーク」に基づき、【きれいと安心な環境づくり】及び【市場を見極めた戦略の投下】を重点としながら、以下の課題に注力いたします。

- 施設全体及び各コンテンツのブラッシュアップ
- 変化する市場に対する的確な商品投下
- 安心・安全の担保
- きれいな新嵐山の印象づけ
- 徹底したコストコントロールの実現

なお、今期の取り組みについては、次のとおりです。

【グリーン期（4～11月）】の取り組み

- 1 キャンプ場のわんちゃんサイト・ファミリーサイトの拡張
- 2 ドックランの強化 [環境改善]
- 3 フォレストテラス with Dog（旧バーベキューテラス）の設置 [環境強化]
- 4 ワークショップ・マルシェの強化
- 5 国民宿舎新嵐山荘コンセプトルーム（ベランピング）の販売強化
- 6 宿泊商品の新しい販路開発
- 7 公園エリアの環境整備・強化
- 8 設備修繕計画の立案・実施
- 9 経理及び管理業務の改善

上記により、シーズン純売上（4月～11月）75,958千円を目指します。

また、新たな試みとして当初より計画しておりました「畑からお届け物（弁当）」の基本的な概念となる「地場生産品の取込」を「新嵐山青果店プロジェクト」として開始いたします。

【ウィンター期（12～3月）】の取り組み

- 1 コストの徹底管理（具体的目標値設定）
- 2 長靴クラブ本格稼働と商品強化
- 3 スノーキャンプ&グランピングの販売強化
- 4 喫食数のアップ（フードコート稼働アップ・コロポックルの利用シーン提案）

5 滞在時間延長の為の休憩スペースの確保と新しい活用方法の提案

6 修繕・改修計画の実行

上記により、シーズン純売上（12月～3月）69,965千円を目指します。

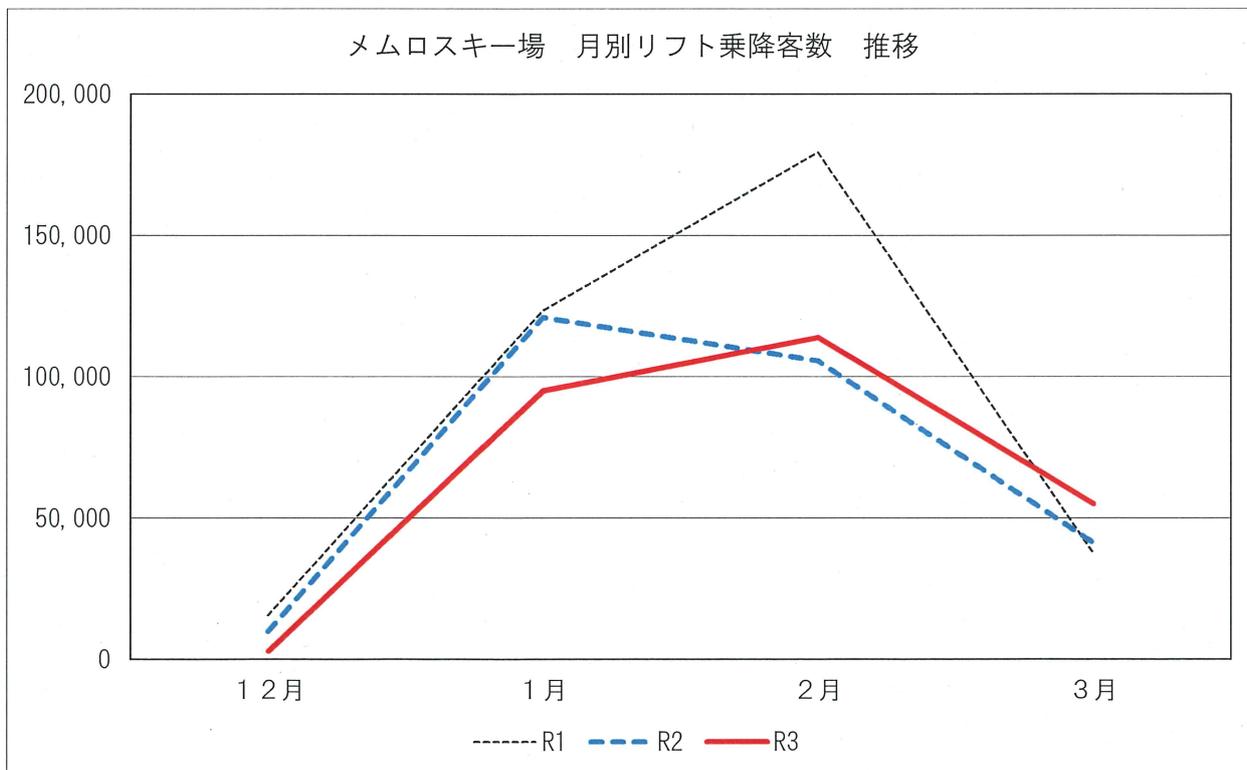
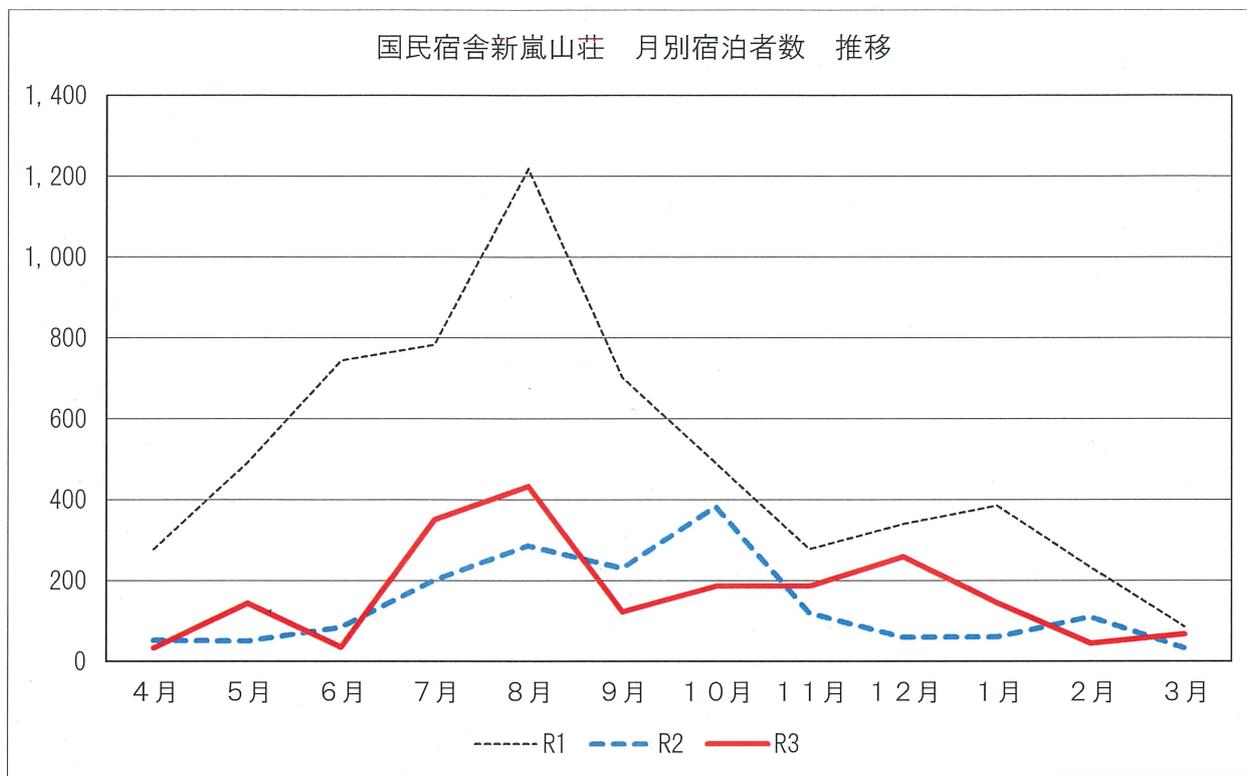
以上のことから、更なるコスト削減を進め、アフターコロナでの集客対策を図りながら、年間売上（純売上）145,923千円を目指します。

損益計算書（第22期計画）

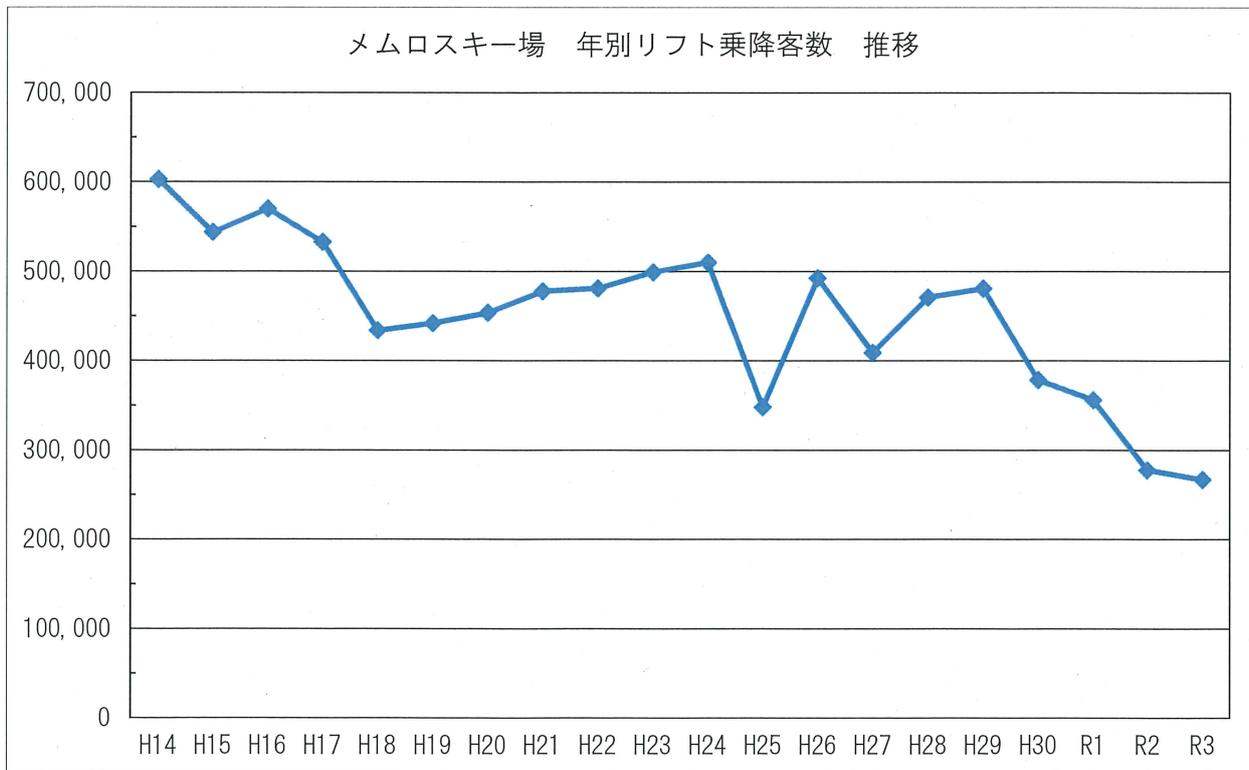
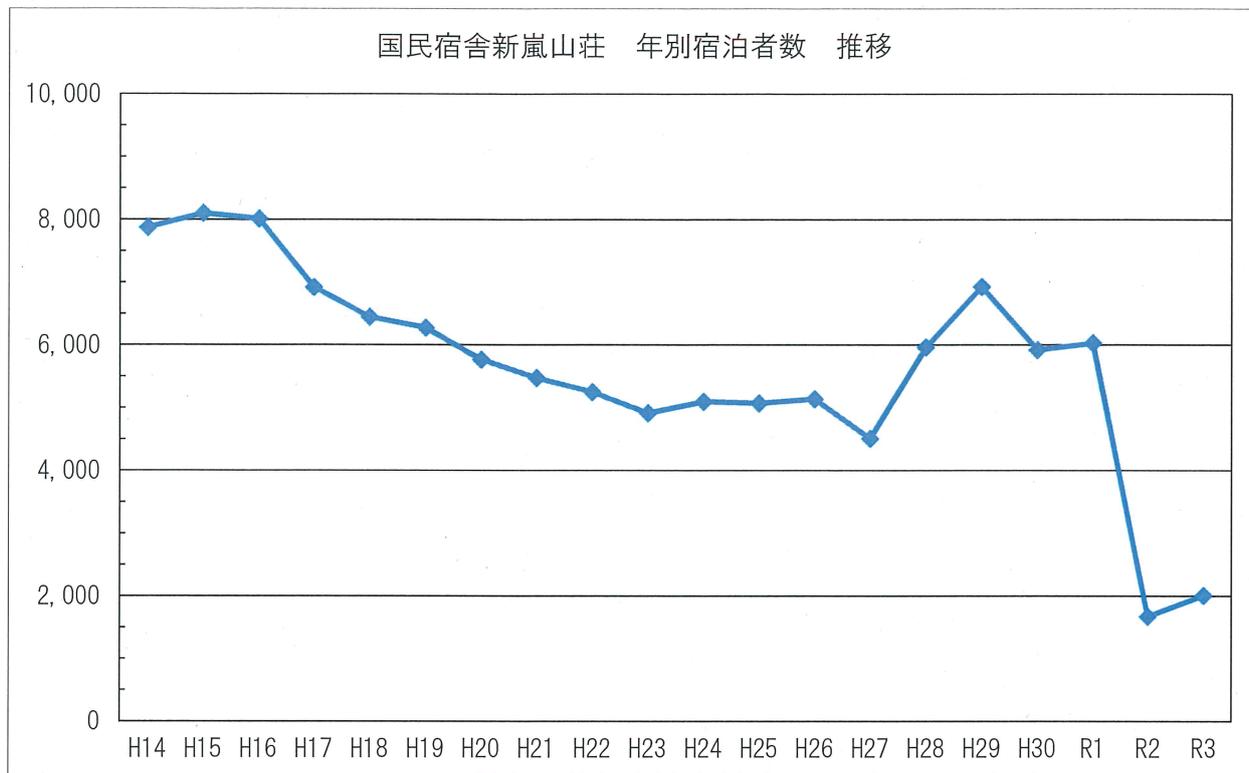
単位：千円

区 分	第18期 (30年度)	第19期 (元年度)	第20期 (2年度)	第21期 (3年度)	第22期予算 (R4年度)	備考
売 上 高	200,892	191,216	162,419	149,172	194,554	
宿舎部門収入 (宿泊者数)	98,647 (5,930)	92,312 (6,035)	37,513 (1,678)	45,876 (2,010)	94,844 (5,567)	
スキー場部門収入 (リフト利用者数:人)	36,591 (378,874)	33,079 (356,354)	31,509 (278,058)	38,551 (266,958)	38,764 (352,400)	
キャンプ場・公園部門収入	0	0	2,328	8,042	12,315	
キャンプ場収入	0	0	2,328	8,042	12,315	
公園管理収入	0	0	0	0	0	
指定管理委託料	46,900	47,108	72,105	54,787	48,631	町からの委託料
牧場管理部門収入	18,754	18,717	18,964	0	0	町からの委託料
その他部門収入	0	0	0	1,916	0	
売 上 原 価	32,789	31,271	13,381	15,816	20,280	
宿舎原価	32,789	31,271	13,381	15,816	20,280	原材料
販売費及び一般管理費	167,855	166,578	177,544	206,531	161,344	
宿舎部門	93,287	93,543	110,555	131,404	94,070	
人件費	63,497	64,074	77,958	79,180	65,127	
各種経費	29,790	29,469	32,597	52,224	28,943	
スキー場部門	45,309	42,935	43,751	27,471	20,125	
人件費	21,019	18,157	23,294	16,547	17,657	
各種経費	24,290	24,778	20,457	10,924	2,468	
キャンプ場・公園部門	13,193	14,922	9,302	46,425	45,889	
人件費	4,653	5,613	3,841	28,273	31,519	
各種経費	8,540	9,309	5,461	18,152	14,370	
牧場管理部門	14,582	13,591	12,346	0	0	
人件費	14,321	13,401	12,126			
各種経費	261	190	220			
共通部門	1,484	1,587	1,590	1,231	1,260	
役員報酬等	1,061	1,110	1,189	360	360	
減価償却費	423	477	401	871	900	
営業利益	248	△ 6,633	△ 28,506	△ 73,175	12,930	
宿舎部門	△ 27,429	△ 32,502	△ 86,423	△ 101,344	△ 19,506	
スキー場部門	△ 8,718	△ 9,856	△ 12,242	11,080	18,639	
キャンプ場・公園部門	△ 13,193	△ 14,922	△ 6,974	△ 38,383	△ 33,574	
牧場管理部門	4,172	5,126	6,618	1,916	0	
共通部門	45,416	45,521	70,515	53,556	47,371	
営業外収益	1,641	1,581	15,428	15,212	720	
宿舎部門	880	915	14,208	15,211	720	雇用調整助成金ほか
スキー場部門	738	643	1,209	0	0	テナント家賃ほか
キャンプ場・公園部門	6	6	5	0	0	散策道休憩所電気料
共通部門	17	17	6	1	0	受取利息
雑損失	0	0	0	0	0	
経常利益	1,889	△ 5,052	△ 13,078	△ 57,963	13,650	
特別損失	0	6,926	1,204	0	0	
法人税等	0	180	0	180	180	
当期利益	1,889	△ 12,158	△ 14,282	△ 58,143	13,470	

(1) 月別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移



(2) 年別宿泊者数及びスキー場利用者数の推移



(3) 営業分析

第21期（令和3年度）めむろ新嵐山株式会社 営業分析

1. 宿泊

営業日数	365日
宿泊売上高	10,614,972円
宿泊者数	2,010人
平均宿泊者数 (人/日)	5.5人
平均単価 (円/日)	5,281円
定員稼働率 (61名)	9.0%

2. スキー場

営業日数	92日		
スキー場売上高	38,551,031円		
乗降者数	266,958人	D	236,453人
		N	30,505人
平均乗降者数 (人/日)	2,901.7人		
平均単価 (円/日)	419,033円		

3. 利用者の地域別割合

	芽室町内	十勝管内	北海道内	北海道外 (国外含む)	合計
宿泊	118人	273人	771人	848人	2,010人
	5.9%	13.6%	38.3%	42.2%	100.0%
キャンプ場	305人	2,202人	1,926人	119人	4,552人
	6.7%	48.4%	42.3%	2.6%	100.0%

4. 部門別営業収支

	宿舎	スキー場	公園 キャンプ場	牧場	共通	合計
売上高	45,876,610	38,551,031	8,042,147	0	56,702,864	149,172,652
売上原価	15,816,482					15,816,482
売上総利益	30,060,128	38,551,031	8,042,147	0	56,702,864	133,356,170
販売費及び 一般管理費	131,403,931	27,470,838	46,425,404	0	1,230,882	206,531,055
営業利益	▲ 101,343,803	11,080,193	▲ 38,383,257	0	55,471,982	▲ 73,174,885
営業外収益	15,211,551	0	0	0	458	15,212,009
雑損失	0					0
経常利益	▲ 86,132,252	11,080,193	▲ 38,383,257	0	55,472,440	▲ 57,962,876